保証書付

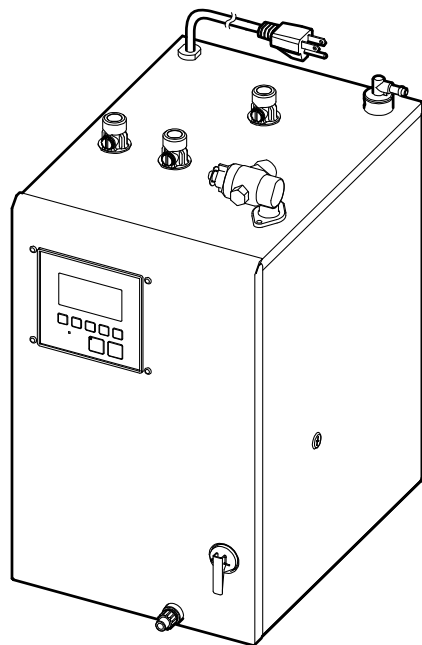
「定期点検情報掲載」

小型電気温水器（先止め式）

品番
EHPN-KA12ECV1/EHPN-KB12ECV1
EHPN-KB25ECV1

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合修理が有料となる場合があります。
※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。また、フィルター付止水栓（必要別売部品）に付属の開閉工具は必ずお客さまにお渡しください。

もくじ

各部のなまえ

機器本体　※図はEHPN-KA12ECV1

操作部

表示部
現在の運転状態や時刻、設定画面を表示します。

▲ ▼スイッチ
設定内容を変更するときに使用します。

設定スイッチ
設定画面を開くときに使用します。

わきあげLED
ヒーター通電時に点灯します。

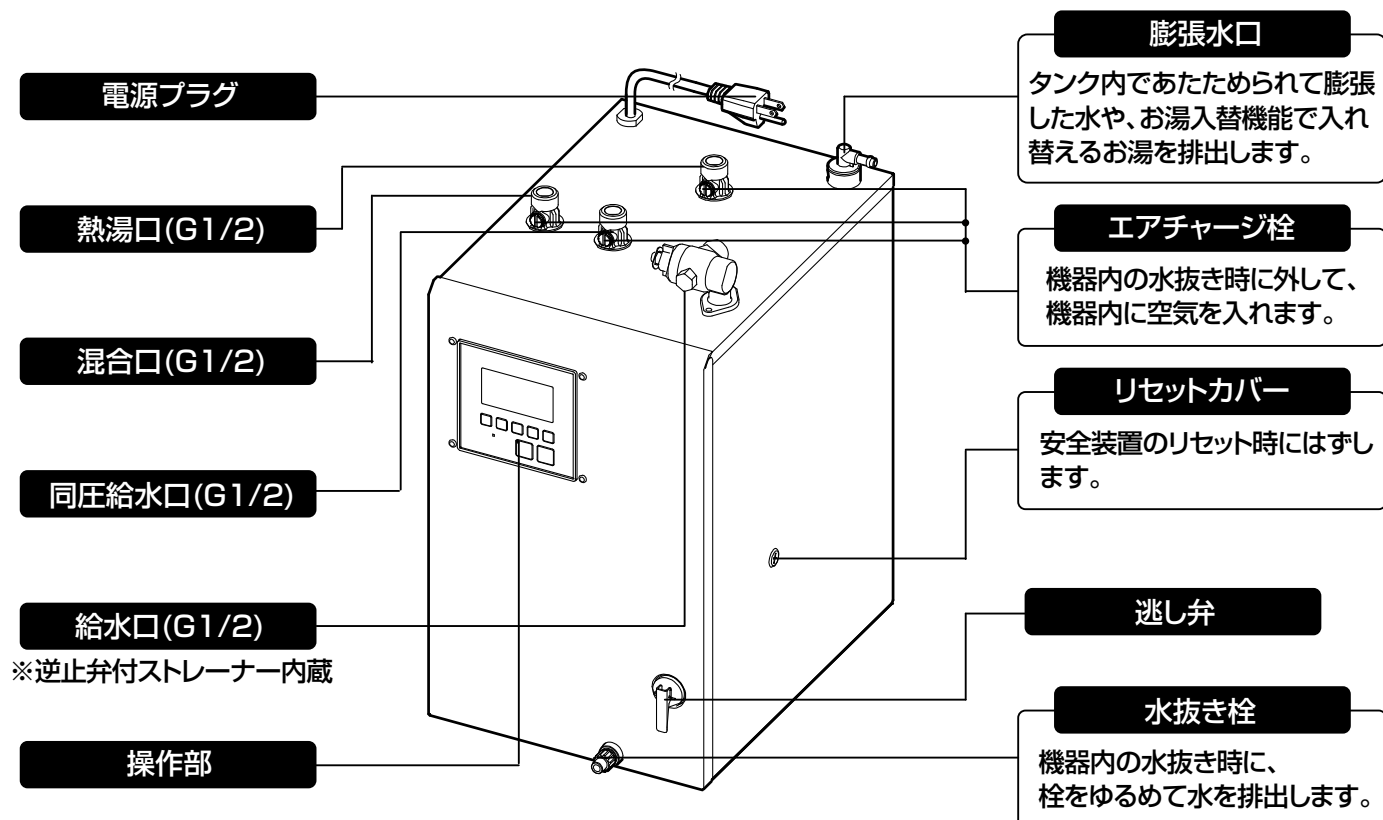
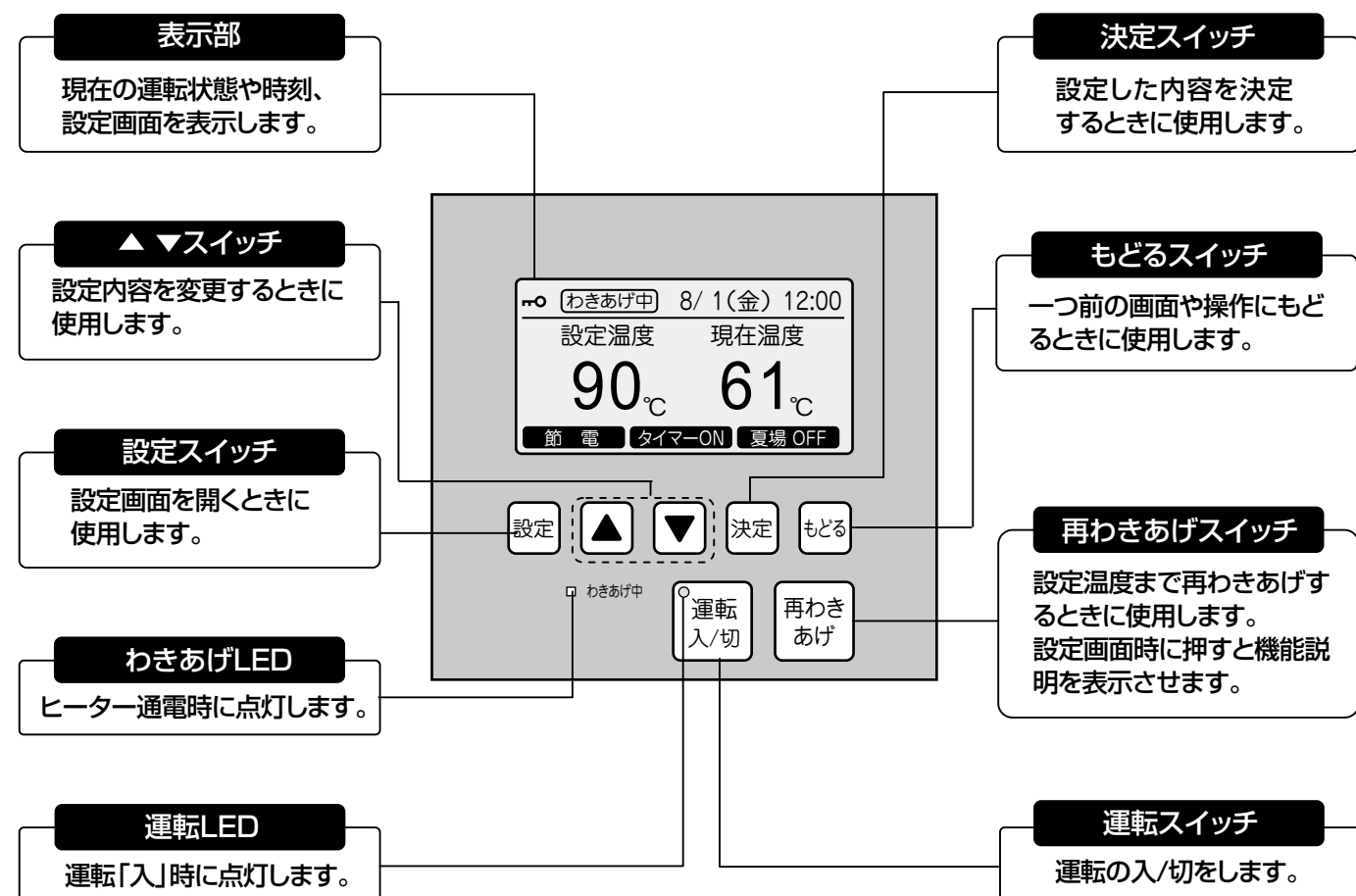
運転LED
運転「入」時に点灯します。

わきあげ中　8/ 1(金) 12:00
設定温度　現在温度
90℃　61℃
節　電　タイマーON　夏場 OFF
設定　▲　▼　決定　もどる
わきあげ中
運転 入/切　再わき あげ

決定スイッチ
設定した内容を決定するときに使用します。

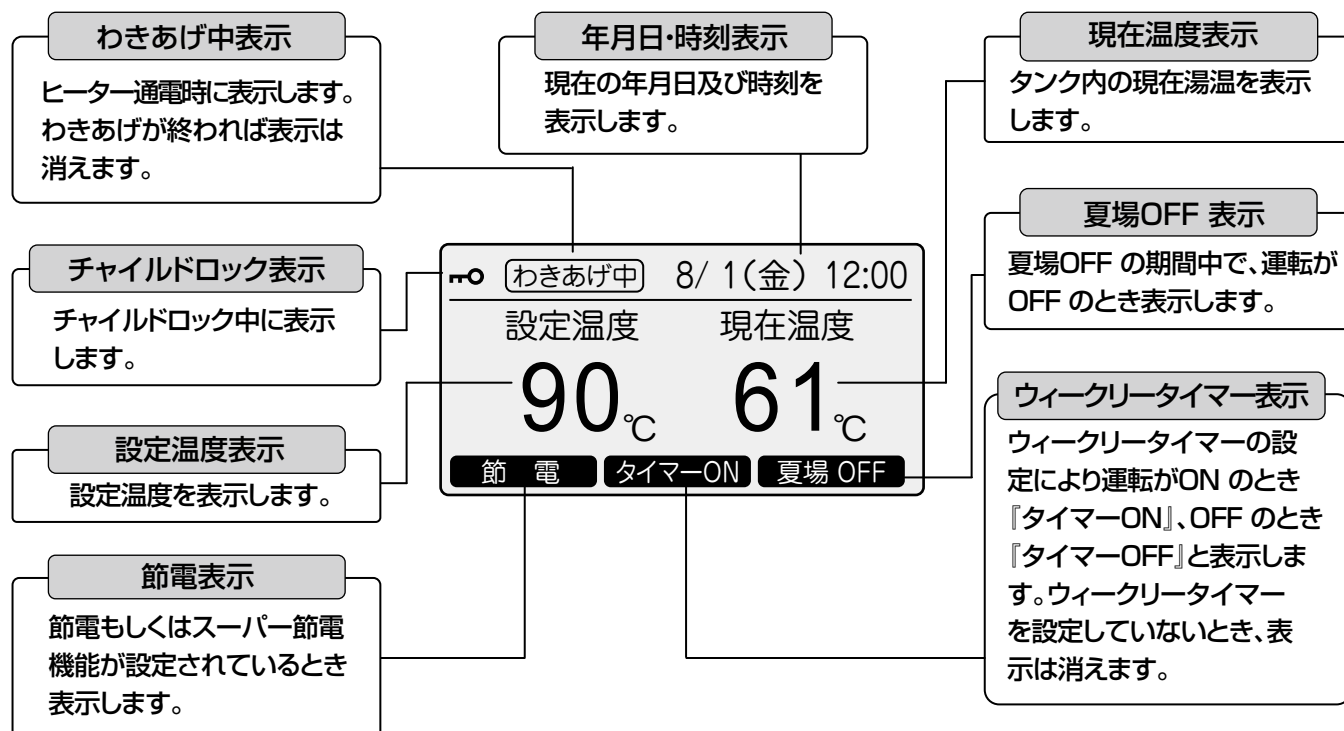
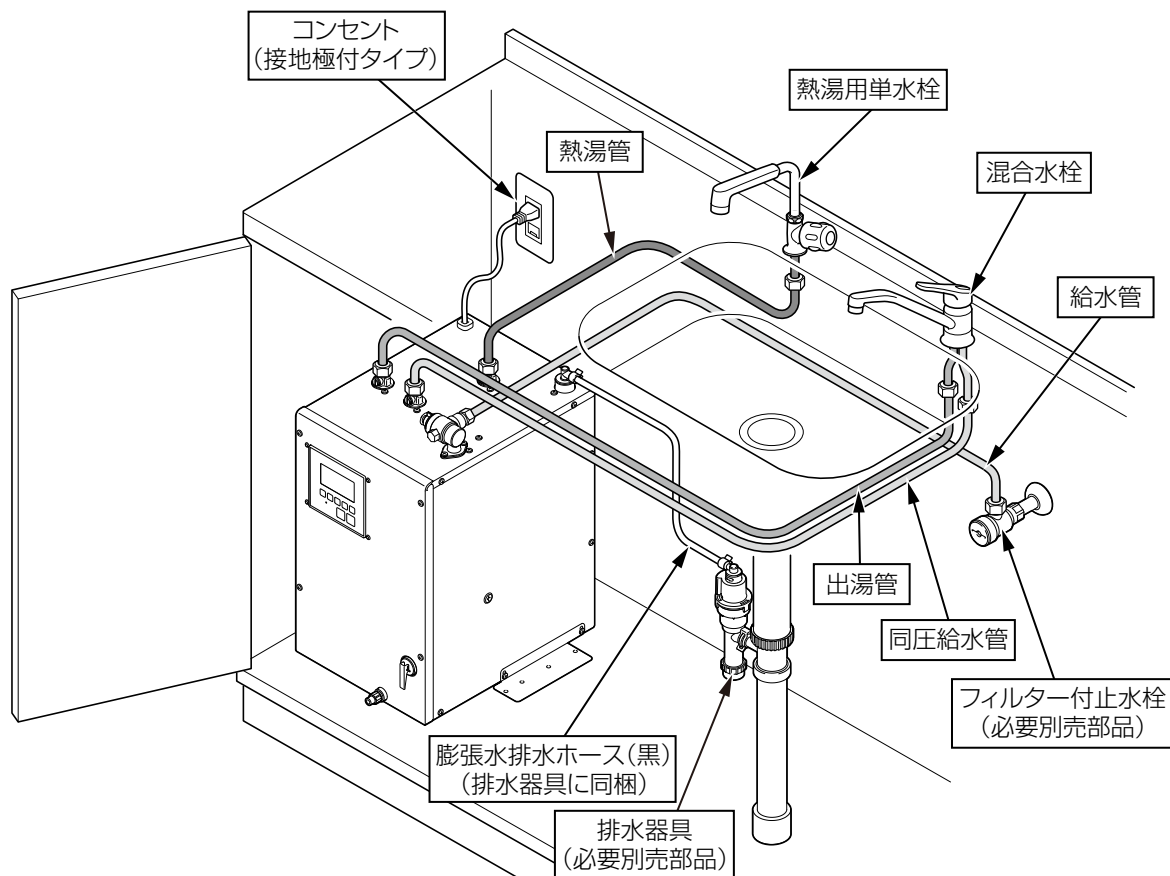
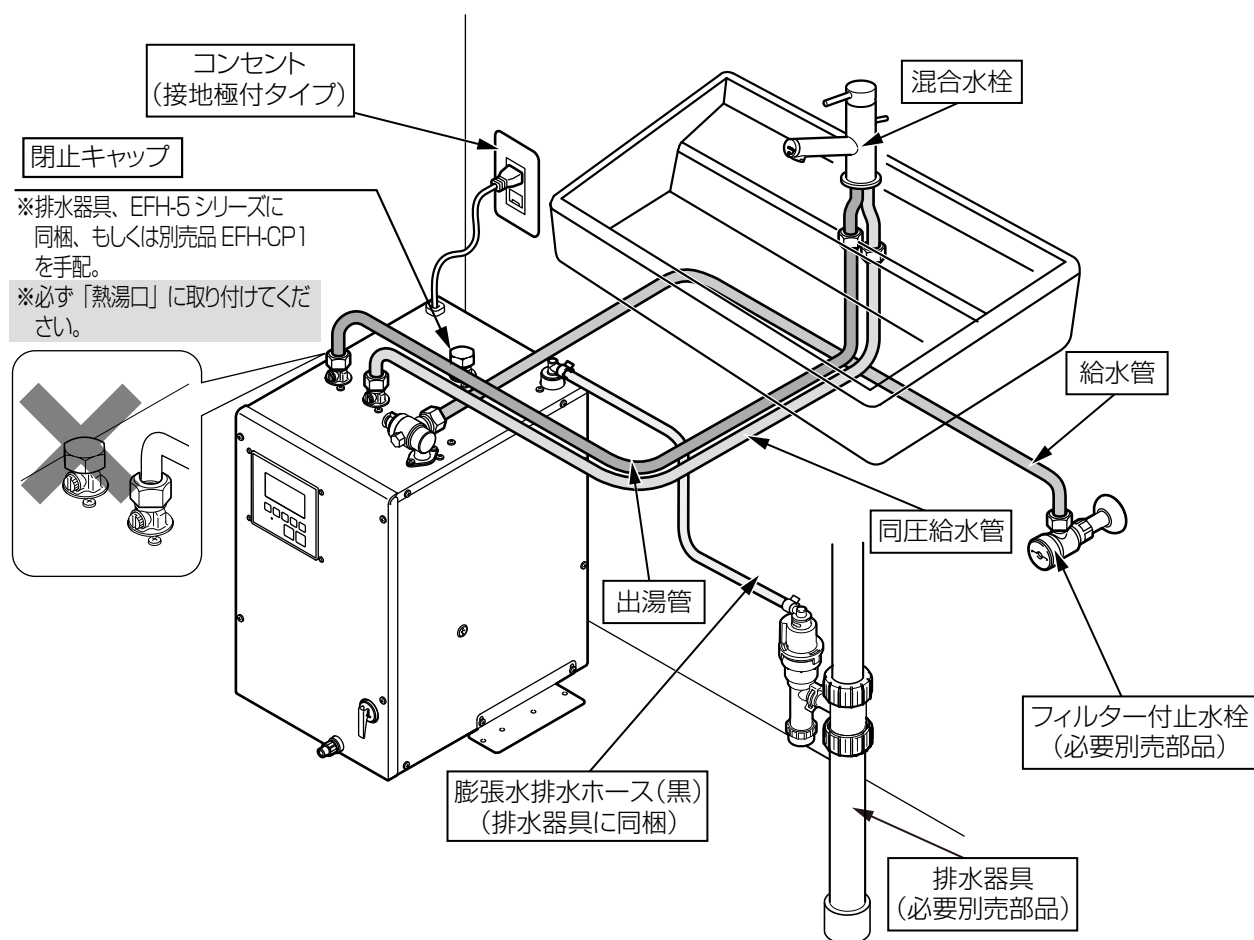
もどるスイッチ
一つ前の画面や操作にもどるときに使用します。

再わきあげスイッチ
設定温度まで再わきあげするときに使用します。
設定画面時に押すと機能説明を表示させます。

運転スイッチ
運転の入/切をします。

表示部

・液晶の表示は、画面保護のため1 時間で液晶表示をOFF にします。
・任意のスイッチを押すことで液晶表示をON にします。

配管図例（キッチンで使用する場合）

コンセント（接地極付タイプ）
熱湯用単水栓
熱湯管
混合水栓
給水管
出湯管
同圧給水管
フィルター付止水栓（必要別売部品）
膨張水排水ホース（黒）（排水器具に同梱）
排水器具（必要別売部品）

配管図例(キッチン以外で使用する場合)

スーパー節電・節電運転について

スーパー節電・節電共通

1 **使用頻度が低い時間帯はわきあがり温度を下げて節電**

使用が少ない時間帯を学習して、使用頻度が低い時間帯はわきあがり温度を下げて節電します。

※お湯の使用量を学習し、30 分単位で最適な保温温度に自動的にコントロールします。

スーパー節電のみ

2 **お湯を使わない夜間・休日は運転をOFF して節電**

お湯を使用しない時間帯(夜間・休日など)を学習して自動的に運転をOFF して節電します。

スーパー節電のみ

3 **お湯を使わない季節は運転をOFF して節電**

水温を学習することにより、お湯を使用しない夏場などに自動的に運転をOFF して節電します。

※給水温度が約20℃程度になると作動します。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語の説明

警告　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合

注意　取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合

記号の説明

「注意しなさい!」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

「してはいけません」（一般的な禁止記号です）

「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です）

「分解してはいけません!」

「必ずアースを接続しなさい」

「電源プラグを抜きなさい」

警告

 禁止	**ぬれ手に注意** 電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。 ※感電の恐れがあります。
 禁止	**水かかり厳禁** ○屋外には設置されていないことを確認してください。 ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所 　特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 ○機器に水をかけたり、機器上部に濡れたものや洗剤等を置いたりしないでください。 ※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因になります。
分解禁止	**分解禁止** 修理技術者以外の人は、絶対に分解·修理は行わないでください。 ※火災や感電の原因になります。
禁止	**機器の改造禁止** ○内部配線や電源コードの切断·圧着は絶対に行わないでください。 ○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せずに専用補修部品と 　交換してください。 ※火災や感電の原因となります。

警告

	アースの接続 ○設置場所の分電盤等に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。 ○アースが必ず接続されていることを確認してください。 ※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電する恐れがあります。
	機器のコンセント 機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント」をご使用ください。対応するコンセント形状は100V、200V で異なりますので、使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適したコンセントをご使用ください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。 ※火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。
指示実行	**ブレーカー作動時の使用中止** 本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。 ※本機器に異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。
	機器使用の条件 使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。 ※適していない電圧や配線に接続すると火災の危険性があります。
	機器使用の条件 雷の音が聞こえる場合には使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※感電の原因になります。
	電源プラグは確実に差し込む 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 ※火災の原因になります。
	電源コードを傷めない 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。 ※電源コードが破損し、感電･火災の原因となります。
	電源プラグのお手入れを 半年に1回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。 ※火災の原因になります。
	 高温注意 ○熱湯用水栓から出るお湯に触れないでください。 ○出湯配管や排水ホースに直接手を触れないでください。 ※ヤケドの恐れがあります。
	熱湯用水栓接続 熱湯口には、必ず熱湯用水栓を接続してください。
	機器使用の条件 この機器は水道水以外の水(水道事業体が供給する上水以外)での使用はできません。 ※早期に機器が損傷したり、漏水したりする恐れがあります。
	熱湯口の使用条件 キッチン以外で使用する場合、熱湯口を使用しないでください。 使用しない熱湯口はキャップで閉止し絶対に使わないでください。 ※ヤケドや洗面器が破損する恐れがあります

⚠ 注意

	機器使用の条件 ○この機器は車両、船舶での使用はできません。 ○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。 ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などの恐れがあります。
	機器使用の条件 この機器は給水圧力0.1～0.75MPa までの範囲でご使用ください。 ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時にタンク内の圧力が高くなり、膨張水口から水が噴き出し続ける恐れがあります。
	膨張水排水ホース（黒）の接続 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)の接続が確実に行われているか必ず確認してください。 ※漏水の恐れがあります。
	飲用注意 機器内に長期間滞留していた水は、飲用に用いず雑用水としてお使いください。 ※体をこわす恐れがあります。
	空だき禁止 機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。 ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
	凍結予防 凍結の恐れがある場合は、機器内の水抜きを行ってください。 ※機器が凍結破損し、漏水する恐れがあります。
	熱湯使用方法 熱湯を使用するときは、必ず水を出しながら湯を出してください。 ※熱湯により配水管やシンクなどが損傷する恐れがあります。

ご承知おきいただきたいこと

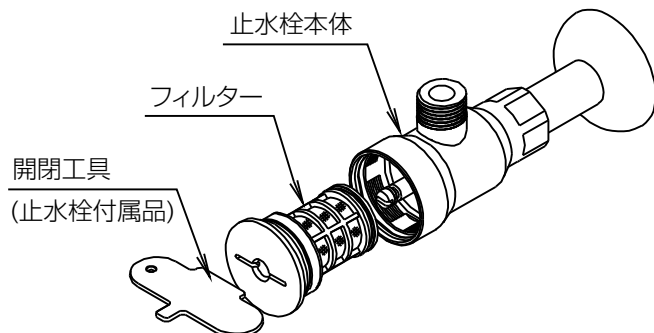
本機器は、貯湯式です。
タンク内のお湯を使い切ると、次の湯がわきあがるまで以下の時間が必要です。

製品品番	わき上がり時間（15℃→90℃）	標準出湯量	
		洗い物用※1	給茶用※2
EHPN-KA12ECV1	約58分	約34L	約100杯（わきあがり温度90℃）
EHPN-KB12ECV1	約42分		
EHPN-KA25ECV1	約66分	約66L	約195杯（わきあがり温度90℃）

※1 水温15℃、出湯温度38℃、出湯量4L/分の標準条件で一度に使用できる湯量
※2 コップ1杯100ccとして

ご使用前の注意事項

確認1.　フィルター付止水栓が取り付けられていますか?

取り付けられていない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センター
TEL: 0120-179-411
FAX: 0120-179-456
にご連絡ください。

【品番】
壁給水用:ELF-3EK
床給水用:ELF-3SEK

注意

必ずフィルター付止水栓を取り付けてください。
※機器内部にゴミが侵入して故障の原因になります。

確認2.　接地極付コンセントが取り付けられていますか?

品番	定格電圧	定格消費電力	対応コンセント形状
EHPN-KA12ECV1	AC100V	1,100W	
EHPN-KB12ECV1	単相200V	1,500W	
EHPN-KA25ECV1		2,000W	

警告

○接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
○分電盤に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
※故障や、感電·火災の原因になります。

確認3.　電源プラグはコンセントから抜いていますか?

●電源プラグがコンセントに接続されている場合は抜きます。

注意

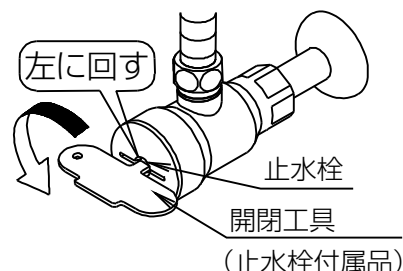
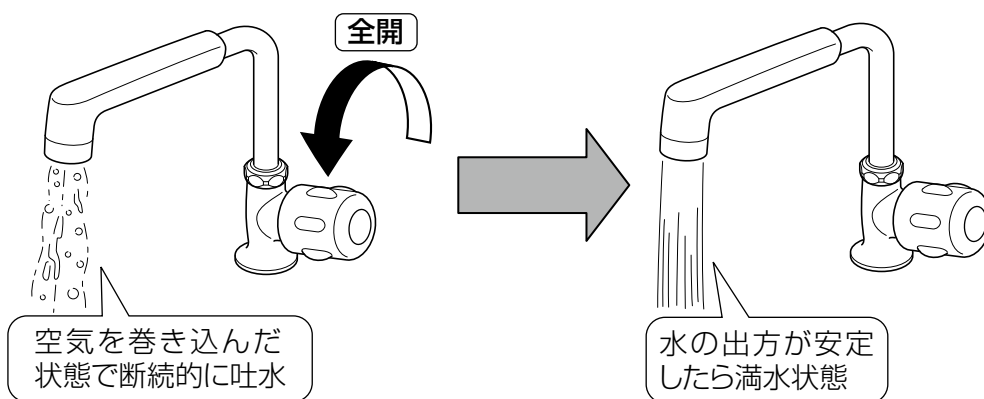
機器内のタンクが満水になっていない場合は、電源プラグを差し込まないでください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。

タンクへの給水手順

注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。

①水抜き栓、エアチャージ栓が閉まっていることを確認する。

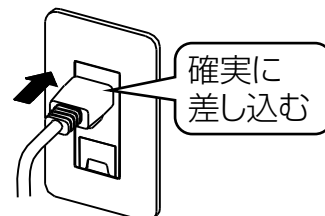
②フィルター付止水栓を開ける。
フィルター付止水栓付属の開閉工具を用います。

③熱湯用水栓を全開にして吐水する。

④混合水栓の湯側、水側についても同様の操作を行う。

⑤止水栓で流量を調整する。
キッチンシンクから水ハネしたり、オーバーフローしたりしないように調整します。

⑥水栓金具を閉め、配管各部に漏れがないか確認する。

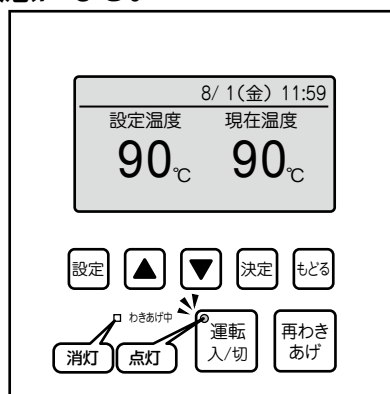
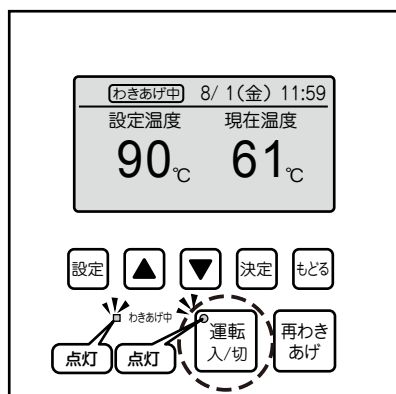
⑦電源プラグをコンセントへ差し込む。

注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
※火災の原因になります。

⑧運転LED が消灯していることを確認する。
点灯している場合は、運転スイッチを「切」にします。

お湯をわかす

● 運転 入/切 を押す。

●わきあげが完了したら、お湯が使える状態になる。

●お湯を使用してタンク内の湯温が下がると、再びわきあげが始まる。
再びわきあげLED が点灯します。わきあげが完了したら、消灯します。

■日常の使用

●湯を使用する時期は運転スイッチを「入」のままにしてください。
●1 週間以上使用しない場合は運転スイッチを「切」にしてください。
再度使用を始める前に、25L 程度通水し、タンク内の水を入れ替えてから運転スイッチを「入」にしてください。

※夏場でお湯が不要な場合は、夏場OFF 機能が設定できます。夏場OFF 期間中は自動で運転OFF にするので、運転スイッチを「切」にする必要はありません。
※スーパー節電設定時は、水温から夏場であることを検知し、自動で運転をOFF にするので、 運転スイッチを「切」にする必要はありません。

わきあがり温度の変更

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『温度設定』を選び、
決定 を押す。

設定メニュー（1/2）
温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定
⬍で選択し、決定を押す

③ ▲ ▼ を押して、わきあがり温度を選び、
決定 を押す。

※60～90℃の間で、5℃きざみで設定できます。
※工場出荷時の設定は90℃です。

※節電機能を設定中に、60℃もしくは80℃を設定した場合、自動的に節電機能を解除します。
（設定温度60℃、80℃の場合節電機能は設定できません。）
※スーパー節電機能設定中に、80℃以上を設定した場合、自動的にスーパー節電機能を解除します。
（設定温度80℃以上の場合スーパー節電機能は設定できません。）

ウィークリータイマー機能

・設定した曜日・時間のみ運転し、それ以外の時間帯は運転OFF して節電します。

・ウィークリータイマーはA とB で2 つの設定を保存でき、状況によって切り替えて使用できます。

例)サマータイムを導入しており、夏場だけ1時間早めた時間で動かしたい場合
ウィークリータイマーA とB を以下のように設定します。
通常はウィークリータイマーA で設定し、サマータイムの時期になったらB に切り替えます。
サマータイムが終わった時に、またA に切り替えます。

ウィークリータイマーA
タイマー1 月～金7:00～18:00

必要なときに切り替えて使用

ウィークリータイマーB
タイマー1 月～金6:00～17:00

・ウィークリータイマーはA とB それぞれ9 個までタイマー設定できます。曜日によって運転時間を変更したい場合や、1 日の中で運転ON とOFF をこまめに切り替えたい場合に、使用できます。

例) 勤務時間が、平日は全日、土曜日は午前のオフィスの場合
タイマー2 つを以下のように設定します。(例ではウィークリータイマーA で設定)

ウィークリータイマーA
タイマー1 月～金7:00～18:00
タイマー2 土7:00～12:30

・工場出荷時のウィークリータイマーは以下のように設定されています。

ウィークリータイマーA
タイマー1 月～金6:30～18:30

ウィークリータイマーB
タイマー1 日～土5:00～22:00

ウィークリータイマーの設定

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『ウィークリータイマー設定』を選び、
決定 を押す。

設定メニュー(1/2)
温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定
⬍で選択し、決定を押す

③ ▲ ▼ を押して、設定するウィークリータイマーを選び、
決定 を押す。

ウィークリータイマー設定
ウィークリータイマーAの設定
ウィークリータイマーBの設定
ウィークリータイマー切替え
⬍で選択し、決定を押す

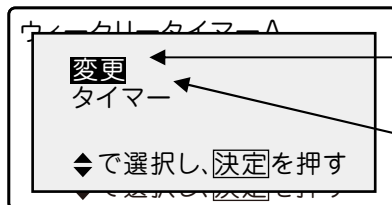
ウィークリータイマー設定画面

④タイマー番号(1~9)の選択

▲ ▼ を押して選択し、決定 を押す。

⑤タイマー設定の変更・クリアを選択

以下のポップアップが表示され、タイマー設定を変更するか、タイマーを削除するかを

▲ ▼ を押して選択し、決定 を押す。

運転する時間・曜日の設定を変更します。

設定されているタイマーを削除します。

⑥運転時間の設定

運転する時間帯を設定します。-(ハイフン)の前が運転ONする時刻、

-の後ろが運転OFF する時刻です。(表示例では6:30~18:30 に運転します。)

▲ ▼ を押して時刻を設定し、決定 で確定します。

※運転ON 時刻の『時』、運転ON 時刻『分』、運転OFF 時刻『時』、運転OFF 時刻『分』の順番で設定します。

⑦運転する曜日の設定

▲ ▼ を押して、運転する曜日を選択し、決定 を押す。

曜日が表示状態: 運転する

曜日が非表示状態: 運転しない

表示例では月~金に運転し、土日は運転しません。

※月曜~日曜日まで選択後、決定 を押すと、タイマー設定され④の番号選択に戻ります。

⑧ウィークリータイマー設定の終了

④のタイマー番号の選択で、『タイマー設定終了』を選択し、決定 を押す。

■ウィークリータイマー設定例

例1) 曜日によって使用時間が異なる場合

タイマー1 設定：月、火、木、金　6:00～18:00 ON
タイマー2 設定：水　12:00～18:00 ON
タイマー3 設定：土　6:00～12:00 ON

ウィークリータイマーA
タイマー1
ON時間 6:00 - 18:00
月 火 木 金
◆で選択し、決定を押す

ウィークリータイマーA
タイマー2
ON時間 12:00 - 18:00
水
◆で選択し、決定を押す

●動作パターン

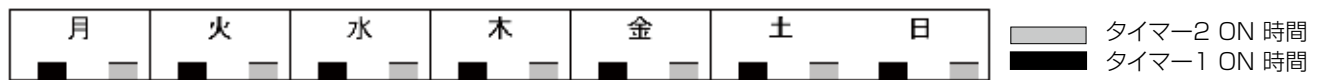
タイマー3 ON 時間
タイマー2 ON 時間
タイマー1 ON 時間

例2) 朝・晩のみ使用する場合（1日の中で複数タイマー使用）

タイマー1 設定：月～日　5:00 ～ 10:00
タイマー2 設定：月～日　17:00 ～ 22:00

●動作パターン

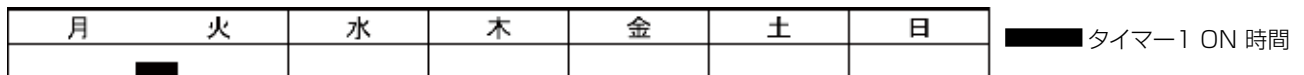
月	火	水	木	金	土	日

タイマー2 ON 時間
タイマー1 ON 時間

例3)深夜に使用する場合

タイマー1 設定： 月 20:00 ～ 火 5:00

※ 運転OFF 時間が運転ON 時間より早い場合、運転がOFF になるのは翌日になります。

●動作パターン

月	火	水	木	金	土	日

タイマー1 ON 時間

例4)一定期間連続で動かす場合

タイマー1 設定:月～金5:00～17:00
タイマー2 設定:月～木17:00～5:00

※この設定の場合、お湯自動入替の『おまかせ時間設定（P14参照）』が設定できません。

●動作パターン

月	火	水	木	金	土	日

タイマー2 ON 時間
タイマー1 ON 時間

使用するウィークリータイマーの変更

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『ウィークリータイマー設定』を選び、

決定 を押す。

設定メニュー（1/2）
温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定
◆で選択し、決定を押す

③ ▲ ▼ を押して、『ウィークリータイマー切替え』を選び、

決定 を押す。

ウィークリータイマー設定
ウィークリータイマーAの設定
ウィークリータイマーBの設定
ウィークリータイマー切替え
◆で選択し、決定を押す

④ ▲ ▼ を押して、設定するウィークリータイマーを選び、

決定 を押す。

ウィークリータイマー切替え
ウィークリータイマーA
ウィークリータイマーB
ウィークリータイマーOFF
◆で選択し、決定を押す

·ウィークリータイマーOFF を選択すると連続運転になります。
·ウィークリータイマーOFF を選択すると、お湯自動入替の『おまかせ時間設定』が設定できません。お湯自動入替したい場合は、『入替時間指定』（P.15）を設定してください。

お湯入替機能

・タンクのお湯を定期的に入れ替える『自動入替機能』と、操作することで強制的にタンクのお湯を入れ替える『手動入替機能』があります。
・自動入替機能は、ウィークリータイマーの設定で運転OFF の時間帯に、自動でお湯を入れ替える『おまかせ時間設定』と、毎日決められた時間帯にお湯を入れ替える『入替時間指定』、前日にタンク内のお湯を使用して全て入れ替わった場合、次の日のお湯入替をキャンセルし節水する『使用量計算設定』があります。
※電気温水器のお湯を飲用する場合は、『おまかせ時間設定』か『入替時間指定』のどちらかを設定することをおすすめします。
・工場出荷時の設定は『おまかせ時間設定』です。
・タンクのお湯を入れ替えるとき、タンクのお湯は膨張水排水ホースを通って排水器具へ排出されます。正しく配管されていることを確認の上、ご使用ください。

自動入替　ーおまかせ時間設定ー

・ウィークリータイマーの設定で、運転ON の1 時間前に自動でお湯を入れ替えます。
・ウィークリータイマーの設定で、一日中運転OFF の日は入替えを行いません。
※ウィークリータイマーを設定していないとき、『おまかせ時間設定』は設定できません。
※ウィークリータイマーの設定で、運転OFF の間隔が1 時間未満しかない曜日があるとき、『おまかせ時間設定』は設定できません。

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『お湯入替設定』を選び
決定 を押す。

設定メニュー(2/2)
夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定
⬍で選択し、決定を押す

③ ▲ ▼ を押して、『自動入替設定』を選び、
決定 を押す。

お湯入替設定
手動入替
自動入替設定
使用量計算設定
⬍で選択し、決定を押す

④ ▲ ▼ を押して、『おまかせ時間設定』を選び、
決定 を押す。

自動入替設定
おまかせ時間設定
入替時間指定
設定しない
⬍で選択し、決定を押す

自動入替　ー入替時間指定ー

・お湯を入れ替える時間を指定し、毎日指定された時間にお湯を入れ替えます。
・ウィークリータイマーや夏場OFF による運転ON/OFF の状態に関わらずお湯を入れ替えます。

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。

③ ▲ ▼ を押して、『自動入替設定』を選び、
決定 を押す。

④ ▲ ▼ を押して、『入替時間指定』を選び、
決定 を押す。

⑤ ▲ ▼ を押して、『時』を設定し、決定 を押す。

⑥ ▲ ▼ を押して、『分』を設定し、決定 を押す。

使用量計算設定

前日にタンク内のお湯を使用して全て入れ替わった場合、次の日のお湯入替をキャンセルし節水する機能です。

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。

③ ▲ ▼ を押して、『使用量計算設定』を選び、
決定 を押す。

④ 確認画面が表示されるので、選択する。

※右の例の場合 決定 を押す。

自動入替を解除する

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。

設定メニュー(2/2)
夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定
⬍で選択し、決定を押す

③ ▲ ▼ を押して、『自動入替設定』を選び、
決定 を押す。

お湯入替設定
手動入替
自動入替設定
使用量計算設定
⬍で選択し、決定を押す

④ ▲ ▼ を押して、『設定しない』を選び、
決定 を押す。

自動入替設定
おまかせ時間設定
入替時間指定
設定しない
⬍で選択し、決定を押す

⑤ 確認画面が表示される。

⑥ 決定 を押す。

手動入替

強制的にタンクのお湯を入れ替える機能です。

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。

設定メニュー(2/2)
夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定
⬍で選択し、決定を押す

③ ▲ ▼ を押して、『手動入替』を選び、
決定 を押す。

お湯入替設定
手動入替
自動入替設定
使用量計算設定
⬍で選択し、決定を押す

手動入替を開始し、表示部に『手動入替中』と表示されます。

※ もどる を押すと手動入替を中止します。

スーパー節電機能、節電機能

【スーパー節電機能】
①使用頻度が低い時間帯を学習して、わきあがり温度を60℃まで下げて節電します。
②お湯を使わない休日や夜間を学習して、自動的に運転OFF して節電します。
③お湯が必要ない季節（夏場など）は、水温を自動検知し、自動的に運転OFF して節電します。
※わきあがり温度80℃以上の設定では、スーパー節電機能は設定できません。
【節電機能】
使用頻度が低い時間帯を学習し、わきあがり温度を下げて節電します。
（90℃,85℃設定時は80℃に、75℃,70℃,65℃設定時は60℃に、わきあがり温度を下げます）
※わきあがり温度80℃,60℃設定では、節電機能は設定できません。
・工場出荷時は節電機能は設定されていません。

① 設定 **を押す。**

② ▲ ▼ **を押して、『節電設定』を選び、**
決定 **を押す。**

③ ▲ ▼ **を押して、設定したい機能を選び、**
決定 **を押す。**

設定メニュー（1/2）
温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定
◆で選択し、決定を押す

節電設定
節電OFF
節電
スーパー節電
学習リセット
◆で選択し、決定を押す

※節電設定を解除する場合は、『節電OFF』を選択します。

学習には3 週間かかります。学習中は設定温度で運転を行います。
・使用頻度が低い時間帯は、わきあがり温度が設定より低くなります。
・使用状況が大幅に変化した場合（お店の営業時間・定休日が変更された等）スーパー節電にしていることにより、湯切れする可能性があります。この場合は、学習内容をリセットしてください。
（17 ページ「学習内容のリセット」参照）

学習内容のリセット

節電機能及びスーパー節電機能の学習内容（お湯の使用頻度と水温）をリセットします。
※リセット後、再度学習する3 週間は設定温度で運転を行います。3 週間後から、節電・スーパー節電それぞれの運転に入ります。

①上記①、②と同じ手順で『節電設定』を選択する。

② ▲ ▼ **を押して、『学習リセット』を押し**
決定 **を押す。**

③確認画面が出たら、 決定 **を押す。**

節電設定
節電OFF
節電
スーパー節電
学習リセット
◆で選択し、決定を押す

学習リセットすると、
3週間は設定温度で運転
します。よろしいですか？
はい → 決定　いいえ → もどる

夏場OFF 機能の設定

・お湯を使わない夏場に自動的に運転OFF して節電します。(最大で5 月～10 月の6 ヶ月)
・夏場OFF の設定期間が終わると、夏場OFF する前の状態で運転を再開します。
・工場出荷時は夏場OFF 機能は設定されていません。

① 設定 を押す。

② ▲ ▼ を押して、『夏場OFF』を選び、

決定 を押す。

③ ▲ ▼ を押して、『設定する』を選び、

決定 を押す。

④ ▲ ▼ を押して、夏場OFF の開始月を選び、

決定 を押す。

※ 設定された月の1 日から夏場OFF を開始します。

⑤ ▲ ▼ を押して、夏場OFF の終了月を選び、

決定 を押す。

※ 設定された月の末日に夏場OFF を終了します。
右図の場合、5/1～10/31 まで運転OFF になります。

以下、お湯入替機能の『おまかせ時間設定』もしくは『入替時間指定』を設定している場合

⑥ 夏場OFF 期間中もお湯自動入替を行うかを選ぶ。
※お湯は使用しないが、水は使用する場合でお湯自動入替をしたい場合に使用してください。(シングルレバー水栓を使用する場合、水側を全開にしないと、タンク内の水が混じってしまいます。)
※湯の入替えは通常時のお湯自動入替と同じ時間に行います。

自動入替を行う場合　　：決定 を押す。

自動入替を行わない場合：もどる を押す。

※ 夏場OFF 機能を解除するには上記③で「設定しない」を選び、

決定 を押す。

設定メニュー(2/2)
夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定
⇕で選択し、決定を押す

夏場OFF設定
設定する
設定しない
⇕で選択し、決定を押す

夏場OFF設定
OFF期間を設定して下さい。
5月～10月
⇕で選択し、決定を押す

夏場OFF期間中も
お湯自動入替えをONに
設定しますか?
ON→決定　OFF→もどる

現在年月日・時刻の設定

① [設定] を押す。

② [▲] [▼] を押して、『時刻設定』を選び、

[決定] を押す。

③ [▲] [▼] を押して、『年』を設定し、

[決定] を押す。

④ ③と同様に『月』、『日』、『時』、『分』の設定を行う。

※分を設定し [決定] を押したときが0 秒です。

設定メニュー（2/2）
夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定
◆で選択し、決定を押す

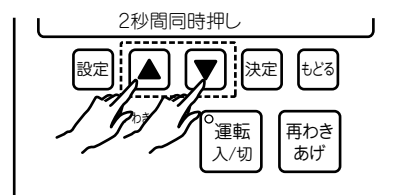
時刻設定
2014年 1月 1日
12:00
◆で選択し、決定を押す

チャイルドロックの設定

[運転 入/切] 以外のスイッチ操作をロックする機能です。

[▲] と [▼] を2 秒以上同時押しする。

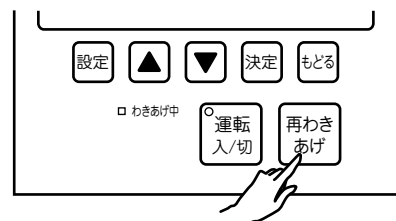
※設定されると表示部に『 ⊶ 』マークが表示されます。

※解除する場合、[▲] と [▼] を2 秒以上同時押しする。

再わきあげ機能

ウィークリータイマーや夏場OFF 機能による、運転OFF の状態にわきあげが可能です。

[再わき あげ] を押す。

※ 再わきあげ中に再度 [再わき あげ] を押すと、再わきあげを中止します。

※ 再わきあげ後も、ウィークリータイマー等の設定は継続されます。

日常の点検

⚠ 注意

必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
※感電の恐れがあります。

つぎのものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※機器の変色や破損の原因になります。

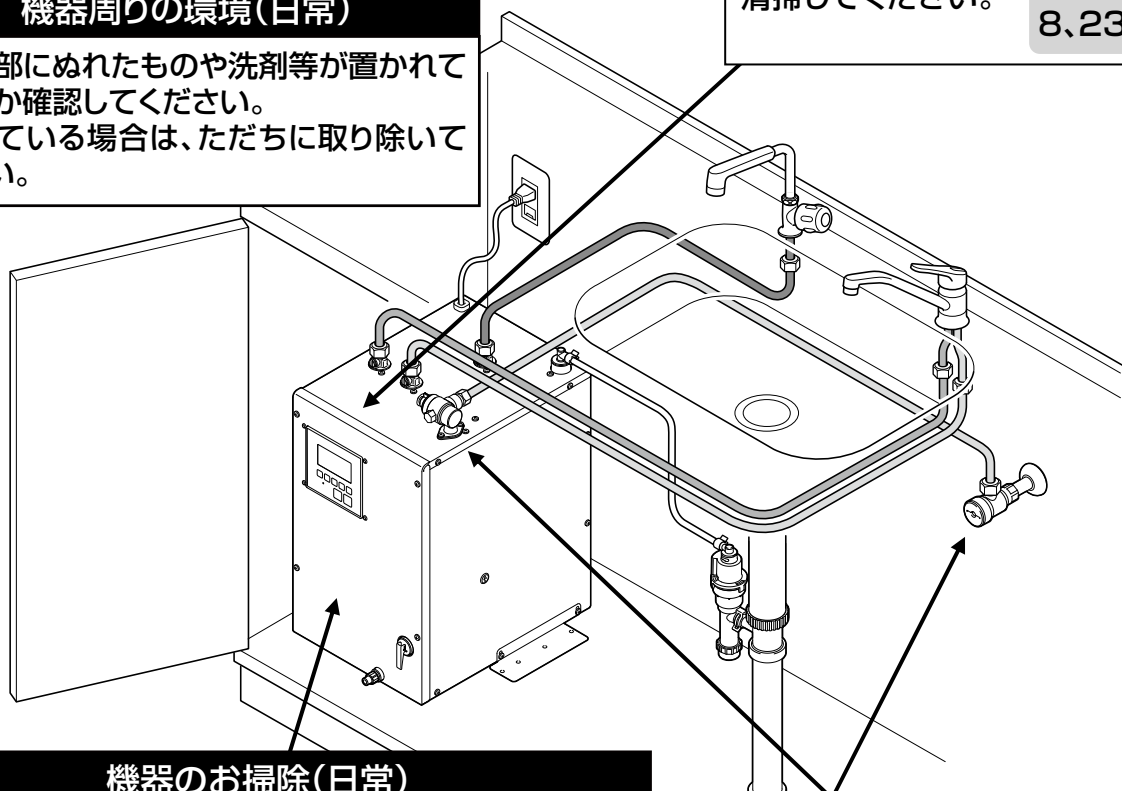
機器回りの漏水点検（日常）

機器、各配管とその接続部分は、長期間の使用により漏水する場合があります。 接続部分や機器の下面から漏水していないか日常的に点検してください。漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

タンク内のお掃除（年1 回程度）

長期間の使用でタンク内に汚れがたまる場合があります。機器内の水抜きと給水をくり返して清掃してください。 8、23 ページ参照

機器周りの環境（日常）

機器上部にぬれたものや洗剤等が置かれていないか確認してください。
置かれている場合は、ただちに取り除いてください。

機器のお掃除（日常）

通常は乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた中性洗剤をしみこませた布でふき取ってください。
また洗剤は確実にふきとってください。
※給湯配管まわりをお手入れする場合は、配管を冷やしてから行ってください。ヤケドの原因になります。
※ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等も使用しないでください。キズつきの原因になります。

フィルターのお掃除（湯量が少なくなったら）

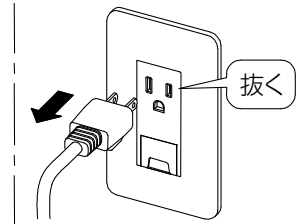
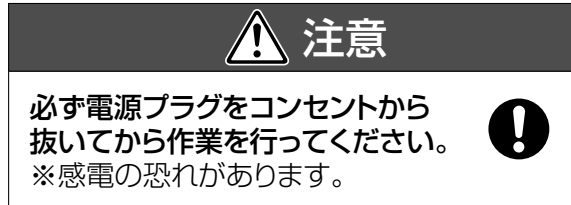
機器の設置初期や長期間使用している間に配管内を流れてきたゴミがフィルターにつまって湯や水の出が悪くなることがあります。
湯や水の出が悪くなったらフィルターの掃除を行ってください。 21 ページ参照

フィルター付止水栓・ストレーナーの掃除方法(湯量が少なくなったら)

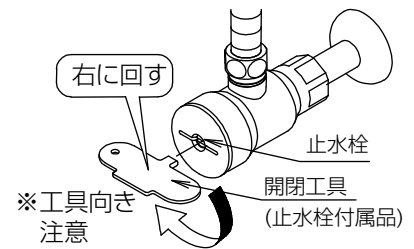
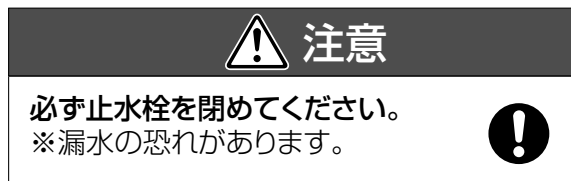
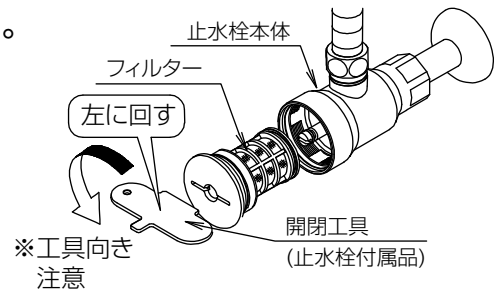
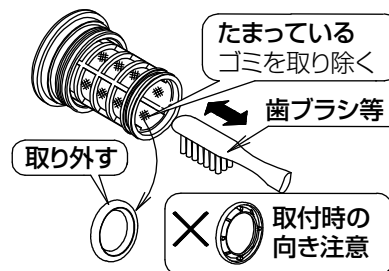
機器の設置初期や、長期間使用している間に、配管内を流れてきたゴミがフィルターにつまって湯や水の出が悪くなることがあります。湯や水の出が悪くなったら、フィルターの掃除を行ってください。

①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

注意

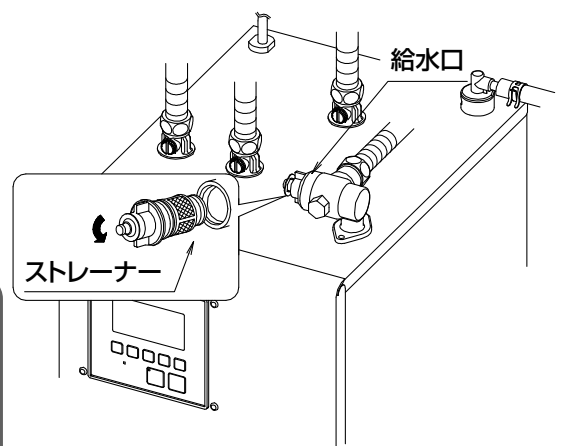
必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
※感電の恐れがあります。

②開閉工具(止水栓付属品)を用いて、止水栓を閉める。

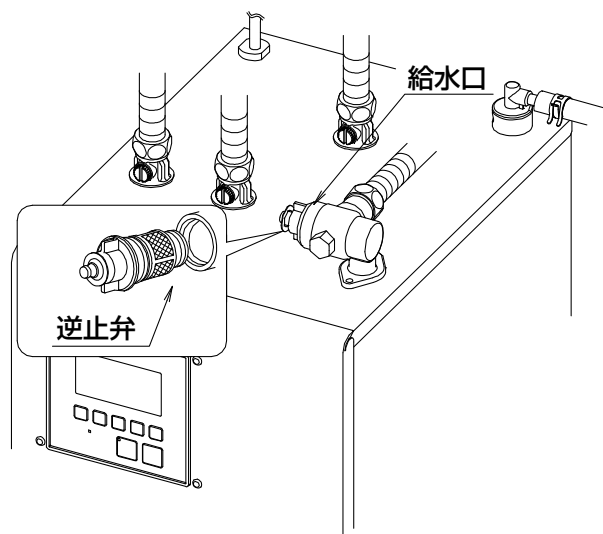
注意

必ず止水栓を閉めてください。
※漏水の恐れがあります。

③開閉工具(止水栓付属品)を用いて、フィルターを取り外す。
フィルターを左に回します。
フィルターを取り外すと、止水栓から水がこぼれます。
止水栓下部に洗面器等を置き、水を受けてください。

④フィルターおよび止水栓本体内部のゴミをブラシ等で取り除く。

⑤取外しと逆の手順でフィルターを取り付ける。

フィルターの掃除を行っても湯量が増えない場合は、23 ページの「機器内の水抜き」に従って、水を抜いた後に、ストレーナーの掃除を行ってください。

①ペンチ等を使用してストレーナーを取り外す。
ストレーナーを外すときは、少量の水がこぼれるので、取外し部にタオル等をあてがいながら、ストレーナーを取り外します。

②ストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシ等で取り除き、水洗いする。

掃除完了後、ストレーナーは確実に取り付け、8 ページからの「ご使用前の注意事項」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。
※不明な点がありましたら、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。有料にて掃除いたします。

定期的な部品点検のお願い

●部品点検について

給水用具（逆流防止装置）を内蔵している機器は安全･快適にお使いいただくために、社団法人日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づき、4～6 年に1回程度の点検を受けることをお勧めします。

●摩耗･劣化する部品交換について

部品が摩耗･劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
•交換の目安：4～6年
•摩耗･劣化する部品の例：減圧弁、逃し弁、パッキン、Oリング、電装品など

点検は取扱店またはLIXIL 修理受付センター修理受付センターにご相談ください。

冬季凍結の恐れがある場合

積雪の多い地方だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬ冷え込みで凍結事故が発生する場合があります。凍結する恐れがある場合は水抜きをしてください。

⚠ 注意

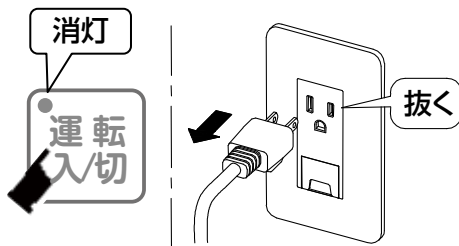
室温が0℃以下になると考えられるときは、機器の水抜きを行ってください。
水抜きを行う前に、空だき防止のため、運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
※機器の漏水や破損の原因になります。

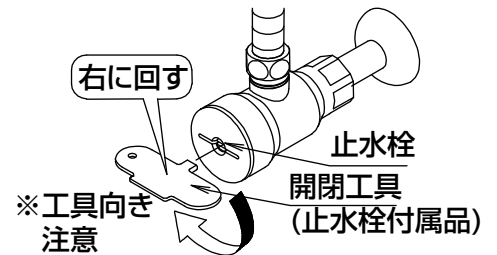
長期間使用しない場合

その期間中に凍結の恐れがある場合

旅行等で長期間機器を使用しないときや別荘などで使用しないときは、下記の手順に従って機器本体および排水器具の水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。
（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

■機器内の水抜き

①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

②熱湯用水栓、もしくは混合水栓の湯側を全開にし、吐水が水になるまで流し続ける。

③水栓金具を開けたまま止水栓を閉める。

注意

機器内のお湯を出し切ってください。
※機器内にお湯が残っていると
　水抜き時ヤケドの恐れがあります。

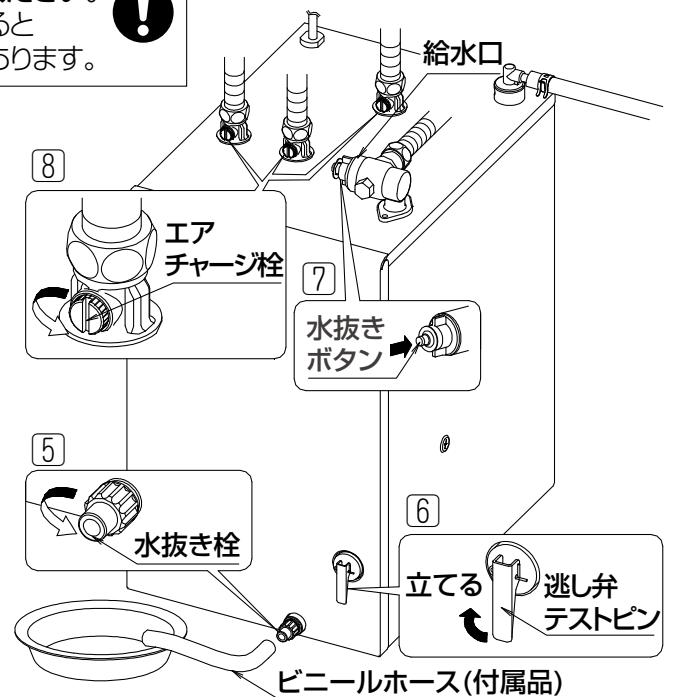
④付属の排水用ビニールホース（透明）の端部を水抜き栓に差し込み、反対側はトレイ等で受ける。
⑤水抜き栓を開ける。
水抜き栓を左に回します。
固くて回しにくい場合は、ペンチ等を使用してください。

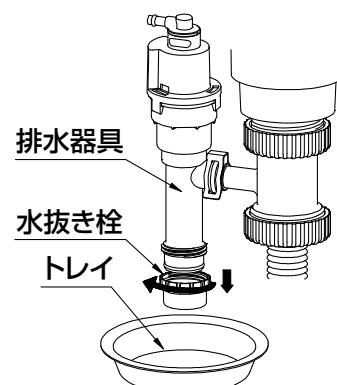
注意

必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜き栓を開けてください。
※高温の湯でヤケドの恐れがあります。

⑥逃し弁のテストピンを立てる。
⑦給水口の水抜きボタンを押す。
⑧エアチャージ栓を開け、排水する。

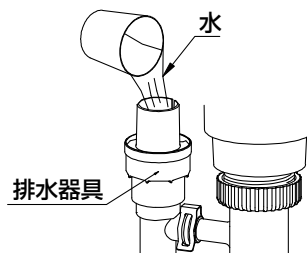
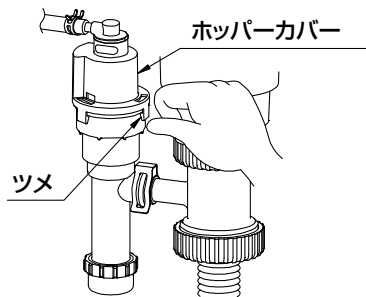
水抜き栓を開けてからエアチャージ栓を開けてください。
※水抜き栓を閉めた状態でエアチャージ栓を
　開けると、エアチャージ栓から水が出てきます。

⑨水抜き栓、エアチャージ栓、逃し弁のピンを元にもどす。

■排水器具の水抜き

排水器具の水抜き栓を開ける。
·水抜き前には、排水器具下部に水を受けるトレイ等を
　準備してください。
·水抜き後には、必ず水抜き栓を取り付けてください。

その期間内に凍結する恐れがない場合

①運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
②止水栓を閉める。
③定期的に、排水器具内のトラップ部に水を補給する。
※運転スイッチを「切」にすると、排水器具内のトラップ部が封水切れを起こし、臭気が発生することがあります。

【トラップ部への水の補給手順】
①排水器具のホッパーカバーを取り外す。
ツメ（3 ヵ所）を外します。

②コップ等でトラップ部に水を補給する。

■封水切れ防止運転（スーパー節電運転・夏場OFF 運転）
・夏場OFF 運転時および、お湯が必要ない季節（夏場など）のスーパー節電運転時の場合、排水器具内のトラップ部に水を自動的に補給する封水切れ防止運転を行います。
・封水切れ防止運転中は、排水器具から水が出ますが、異常ではありません。

停電時の対応

停電時または電源プラグが抜かれている場合は、内蔵電池により時計機能・学習内容の記憶を行います。
停電復帰後、以下の確認をしてください。

■表示部の日付・時刻が正しい場合
そのままご使用ください。

■表示部の日付・時刻が正しくない場合
①電源プラグを差してください。
②日付・時刻を再設定してください。（19ページ参照）

故障かなとおもったら

故障かなと思ったら、まずは下記項目をご覧になり、処置方法を試してみてください。
確認しても故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解、改造は行わないでください。
※火災や感電の原因になります。

お湯が出ない、お湯にならない、お湯がぬるい

原因	処置方法
止水栓を開いていますか?	止水栓を開けてください。
元電源は入っていますか?	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
分電盤のブレーカーが作動していませんか?	機器の使用を中止し、取扱店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
電源プラグは確実に差し込まれていますか?	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
空だきして安全装置が働いていませんか?	安全装置をリセットしてください。27 ページ
運転スイッチが「切」になっていませんか?	運転スイッチを「入」にしてください。9 ページ
表示部に『節電』の表示がありませんか?	節電機能が作動し、湯の使用頻度が低い時はわきあがり温度を下げて節電運転をしています。
表示部に『スーパー節電』の表示がありませんか?	スーパー節電機能が作動し、湯の使用頻度が低い時は、わきあがり温度を下げて節電運転をしています。また、給水温度が高い時、湯を使用しない時間帯は自動的に運転をOFF しています。
表示部に『タイマーOFF』の表示がありませんか?	ウィークリータイマー機能により、自動的に運転をOFF しています。
表示部に『夏場OFF』の表示がありませんか?	夏場OFF 機能により、自動的に運転をOFF しています。
設定温度が低くないですか?	設定温度を高くしてください。

流量が少ない

原因	処置方法
止水栓が十分に開かれていますか?	止水栓を開けてください。8 ページ
断水していませんか?	断水の確認をしてください。
止水栓のフィルターが詰まっていませんか?	フィルターを掃除してください。21 ページ
機器のストレーナーが詰まっていませんか?	ストレーナーを掃除してください。21 ページ
水栓金具の吐水口が詰まっていませんか?	水栓金具の吐水口を掃除してください。

漏水している

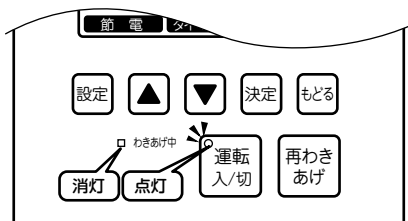
原因	処置方法
電気温水器本体から漏水していますか?	取扱店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
配管接続部から漏水していますか?	締め直すことができる部分は締め直してください。それ以外は止水栓を閉め、修理依頼をしてください。

お湯が汚れている

原因	処置方法
タンク内が汚れていませんか?	タンク内を掃除してください。20 ページ

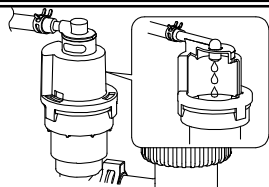
次の場合は故障ではありません

こんなときは → **理　由**

運転スイッチを「入」にしているが、わきあげLED が点灯していない。

→ タンク内の水がわきあがると、ヒーターの通電を停止するため、わきあげLED が消灯します。
タンク内の湯温が下がると、ヒーターの通電を開始するためわきあげLED が点灯します。

→ 表示部に『タイマーOFF』、や『夏場OFF』の表示がある場合は節電機能が働いているため、わきあげを行いません。

わきあげ中　8/ 1（金）11:59
設定温度　現在温度
90℃　61℃
節 電　タイマーON　夏場 OFF

わきあげ中に排水器具からポタポタと水が出る。

→ タンク内の水は温められると、膨張して体積が増えます。その膨張した水を排水器具から排出しており、異常ではありません。

お湯の量が少ない。

→ 本機器は、タンク破損防止のために減圧弁を内蔵し、水圧を下げています。

お湯の温度が低くなる。

→ タンク内のお湯がなくなったためと考えられます。お湯がなくなると、再度水のわかしあげに時間がかかります。

6 ページ参照

出てくるお湯ににおいがする。

→ 水道水中に含まれるにおい成分（カルキ臭）などが加熱され、においが感じられることがあります。使い始めはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

混合水栓の水側を開いたときにあたたかい水が出る。

→ タンク内の水をわかしあげる際に、給水配管の水に若干熱が伝わるからです。

本体が熱くなっている。

→ 通常機器外装部の表面温度は、約50℃程度まで上昇します。

機器から異音がする。

→ お湯のわきあがり近くになると、機器内部からお湯がわいている音がする場合がありますが、異常ではありません。

「節電」、「スーパー節電」の設定ができない。

→ わきあがり温度が80,60℃設定時は、節電機能は設定できません。またわきあがり温度が80℃以上設定時は、スーパー節電機能は設定できません。

こんなときは		理　由
排水器具から水が数秒間排出する。	→	わきあげ中のエアー抜き機能もしくは、封水切れ防止機能が働いているためです。
排水器具から数十分間勢いよく水が出る。	→	お湯自動入替機能による、お湯の入替が行われているためです。
運転スイッチ「入」にしているのに液晶の表示が消えている。	→	1 時間スイッチの操作がない場合、液晶の表示が消えます。任意のスイッチを押すと表示されます。

上記処置で不明な点がございましたら、取扱店または当社お客さま相談センターへご相談ください。
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL 修理受付センターにご連絡ください。
TEL 0120-179-411　　FAX 0120-179-456

■エラー表示と処置方法

エラーが発生すると運転を中止し、表示部にエラー内容が表示されます。
下記の手順に従って処置してください。

エラー名、表示	処置方法
空だき	●空だきした可能性があります。 ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜きます。 ②タンクへ給水されているかを確認します。 されていない場合はタンクへの給水を行います。8 ページ ③電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にします。
流量異常	●以下の状態で運転を継続した可能性があります。 (A)断水等で一時的に止水状態になった。 (B)止水栓が閉まっていた。 (C)止水栓のフィルター、給水口のストレーナーにゴミが詰まっていた。 【処置方法】 ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜きます。 ②止水状態でないか（一時的な断水、止水栓が閉まっている）確認し、止水状態の場合は復帰させせます。 ③止水状態ではない場合は、止水栓を閉め、止水栓のフィルター、給水口のストレーナーを掃除します。 ④電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にします。 ⑤手動入替を設定し、エラー表示が出ないことを確認します。16ページ 再度表示した場合は、取扱店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
安全装置作動	●安全装置が作動している可能性があります。 ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜きます。 ②電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にします。 再度表示した場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。
漏水検知	●漏水した恐れがあります。 ①電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を閉じます。23 ページ ②取扱店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
ヒーター断線異常 電磁弁高温出湯異常 電磁弁用サーミスタ異常 表示用サーミスタ異常 給水サーミスタ異常 缶体サーミスタ異常	取扱店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。

アフターサービスについて

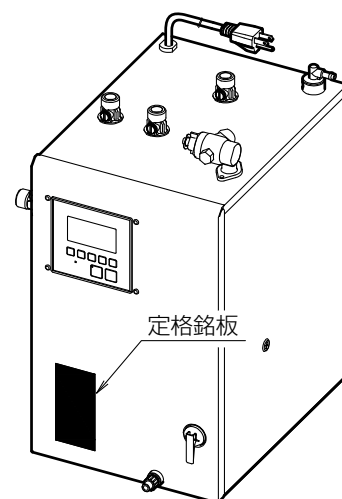
1.修理を依頼される前に

使用していて、故障ではないかと思われたら、25、26ページの「故障かなとおもったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

2.保証書をご覧ください

●本製品の保証期間はお取付日から2年間です。
●この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。 お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼されるとき

＜保証期間中の修理＞
・修理に際しては、保証書をご提示ください。
・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
＜保証期間経過後の修理＞
・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
・修理料金は
「技術料」＋「出張料」＋「部品代」で構成されています。
＜連絡していただきたい内容＞
1 ご住所・ご氏名・電話番号
2 商品名・品番・取付年月日
（機器本体の定格銘板をご覧ください）
3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
4 訪問ご希望日・お宅までの道順

※お客さまからご連絡いただく氏名や住所等の個人情報は、 商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、 弊社と同等の管理を行わせます。

4.部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.修理のご依頼は

お求めの販売店やお近くの水道工事店、または

LIXIL 修理受付センターまで
TEL 0120-179-411
受付時間9:00～20:00(365日受付)
FAX 0120-179-456
ホームページアドレスhttp://www.lixil.co.jp/support/

仕様

品番		EHPN-KA12ECV1	EHPN-KB12ECV1	EHPN-KB25ECV1
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		242mm×341mm×430mm (突出部寸法含む)		402mm×413mm×430mm (突出部寸法含む)
本体質量		本体約10 kg(満水時約22 kg)		本体約13kg(満水時約38kg)
給水方式		先止め式		
使用水圧範囲		0.1MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)		
減圧弁設定圧力		0.08MPa		
安全弁設定圧力		吹き始め:0.097MPa 吹き止り:0.090MPa		
電源コード・プラグ形状		有効長さ1.5m	有効長さ1.5m	有効長さ1.5m
電気定格	定格電圧	100V	単相200V	単相200V
	消費電力	1100W	1500W	2000W
タンク	容量	約12L		約25L
	材質	特殊ステンレス鋼板		
わきあがり温度		60～90℃(5℃刻み)		
出湯温度		熱湯口:60～90℃(5℃刻み)、 混合口:38℃(温度範囲33～43℃)※1		
わきあがり時間 (15→90℃)		約58分	約42 分	約66 分
発熱体	構造	シーズヒーター		
	容量	1100W	1500W	2000W
自動温度調節器		サーミスタ方式		
温度過昇防止器		サーミスタ方式 バイメタル方式(手動復帰式)		
標準出湯量	洗い物※2	約34L		約66L
	給茶用※3	約100杯		約195杯
使用可能 雰囲気温度		0～40℃(ただし凍結しないこと)		

※1: 出湯温度は変更できません。
※2: 水温15℃、出湯温度38℃、出湯量4Lの条件下で一度に使用できるお湯の量です。
※3: コップ1杯100ccとして

特定電気用品の適合性検査証明

本製品は、電気用品安全法第9 条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

LIXIL

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：		（品番：　　　）	
保証期間 取付日より　2ヶ年		取付日 年　月　日	
お客さま	おなまえ 様	取扱店名	
	おところ 無効		
	おでんわ （　　）　ー	TEL（　　）　ー	

お客さまへ
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8)小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
(14)凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17)指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合
(18)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(19)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

商品についてのお問い合わせはお客さま相談センターまで
TEL 0120-179-400
FAX 0120-197-430
受付時間　平日　9：00〜18：00
土日・祝日　9：00〜17：00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで
TEL 0120-179-411
FAX 0120-197-456
受付時間　9：00〜20：00（365日受付）

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL 0120-179-400

FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

インターネット・ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

修理のご依頼は（本文の「アフターサービス」をお読みください）

お求めの販売店または

LIXIL 修理受付センターまで

TEL 0120-179-411

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

FAX 0120-179-456

ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

GEH-0096(14102)

プラ

梱包袋（本体、付属部品、取扱説明書、施工説明書）